

船橋市教育委員会会議 5月定例会会議録

1. 日 時 平成28年5月10日(火)
開 会 午後 1時30分
閉 会 午後 2時05分

2. 場 所 教育委員室

3. 出席委員
委 員 長 鎌 田 元 弘
委員長職務代理者 佐 藤 秀 樹
委 員 石 坂 展 代
委 員 鳥 海 正 明
教 育 長 松 本 文 化

4. 出席職員
教育次長 秋 山 孝
学校教育部長 棚 田 康 夫
生涯学習部長 佐 藤 宏 男
管理部参事兼施設課長 小 川 良 平
学校教育部参事兼保健体育課長 向 笠 真 司
学校教育部参事兼総合教育センター所長 秋 元 大 輔
生涯学習部参事兼青少年課長 古 畠 秀 昭
教育総務課長 度 会 益 己
学務課長 筒 井 道 広
指導課長 尾 楠 欣 也
社会教育課長 二 野 史 靖
文化課長 田久保 里 美
生涯スポーツ課長 中 田 進 一
中央図書館長 金 子 昌 利
教育支援室長 亀 田 智 久

5. 議 題
第1 前回会議録の承認
第2 議決事項
議案第30号 船橋市学区審議会委員の委嘱について
議案第31号 船橋市中心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について
議案第32号 船橋市図書館協議会委員の委嘱について

議案第33号 平成28年度船橋市教科用図書選定委員会委員の委嘱又は任命について

第3 報告事項

- (1) 国家公務員船橋行田住宅跡地の学校用地としての取得について
- (2) 西安市教育友好使節団の受け入れについて
- (3) 吉澤野球博物館寄贈記念野球史料展の開催結果について
- (4) 第49回船橋市少年少女交歓大会実施報告について
- (5) ホタル鑑賞会の開催について
- (6) その他

6. 議事の内容

【委員長】

こんにちは。

ただいまから、教育委員会会議5月定例会を開会いたします。

はじめに、会議録の承認についてお諮りいたします。

4月20日に開催いたしました教育委員会会議4月定例会の会議録をコピーしてお手元にお配りしてございますが、よろしければ承認したいと思います。

ご異議ございませんか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めますので、当該会議録について承認します。

それでは、議事に入りますが、議案第30号から議案第32号は船橋市教育委員会会議規則第12条第1項第1号に該当し、議案第33号は同条第1項第5号に該当しますので非公開としたいと思います。また、議案第33号につきましては、関係職員以外の職員はご退席願いますことから、同規則第7条の規定により議事日程の順序を変更することとし、報告事項(6)の後に繰り下げたいと思います。

ご異議ございませんか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

異議なしと認めますので、そのようにいたします。

また、会議の進め方について、皆様にご提案させていただきます。

限られた時間の中で会議をより充実したものにするため、簡易な報告事項、定例の報告事項については担当部署からの説明を求めず、事前に用意された資料をもとに質疑のみを一括して行うものとしてはどうかと思います。

今回の定例会では、報告事項（４）及び報告事項（５）がこれに該当すると思いますが、今後このような会議の運営を行っていくということではいかがでしょうか。

【各委員】

異議なし。

【委員長】

ありがとうございます。

それでは、今回の定例会からそのようにいたします。

はじめに、議決事項に入ります。

議案第３０号について、学務課、ご説明をお願いいたします。

議案第３０号「船橋市学区審議会委員の委嘱について」は、学務課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

【委員長】

続きまして、議案第３１号について、総合教育センター、説明をお願いいたします。

議案第３１号「船橋市中心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について」は、教育支援室長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

【委員長】

続きまして、議案第３２号について、中央図書館、説明をお願いいたします。

議案第３２号「船橋市図書館協議会委員の委嘱について」は、中央図書館長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

【委員長】

続きまして、報告事項に入ります。

はじめに、報告事項（１）について、教育総務課、報告をお願いいたします。

【教育総務課長】

報告事項（１）国家公務員船橋行田住宅跡地の学校用地としての取得についてをご報告いたします。

本冊の１ページをご覧ください。

こちら、財務省のホームページで発表された資料でございます。西部地区の児童生徒数増加への対応につきましては、２カ所について学校用地取得の要望をいたしております。

１つは、新船橋駅と塚田駅の間にあるAGCテクノグラス中山事業場跡地に、新たな小学校用地として取得要望し、現在、事業者と協議中です。

そして２つ目、今回の報告になります。行田中学校の北側にある国家公務員船橋行田住宅跡地について、一部を行田中学校の拡張用地として、そして残りの敷地を新たな中学校用地として要望しておりましたが、このたび資料にありますとおり、要望どおり取得できることが決まりましたので、ご報告いたします。

行田中学校の運動場の拡張については平成３２年度の供用開始を予定しております。

そして、新設中学校敷地については、今後、AGCテクノグラス跡地が大規模開発されると思われませんが、こういった大規模開発があると、まずは小学生の数が増えていって、５年後ぐらいがピークになります。そして、その５年後ぐらいに中学生の数がピークになりますので、新設中学校の開校は１０年後の３８年度を予定しております。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。

ただいまご報告ありましたが、ご意見、ご質問ございますでしょうか。

【石坂委員】

４ページの利用計画図ということで、行田中学校拡張敷地というのと、隣に新設中学校敷地というのがありますけれども、全く別の中学校ということでしょうか。違う中学校を隣同士につくるというのは、何か理由はありますか。

【教育総務課長】

隣り合わせで中学校があると、生徒指導上どうなのかというお声も確かにあるのですが、こういうまとまった用地というのが、あまり出ないのです。今回、国家公務員住宅という、このまとまった大きな土地があるというチャンスでしたので、確かに隣り合わせではあるのですが、学区等、切り分けを工夫していきたいと考えております。

以上です。

【佐藤委員長職務代理者】

隣同士で中学校があるというのも、ちょっとどう考えていいかわからないのですが、ただ、やり方によってはおもしろいと思います。

それと、この学校を実際どのような学校にしていくかという計画等は、何年度からスタートになるのでしょうか。

【教育総務課長】

5年後ぐらいかと思います。基本方針です。

どのような学校にしていくというのを決め出して、約5年ぐらいで竣工というところになります。

以上です。

【佐藤委員長職務代理者】

新設の学校をつくるというのは、本当に今は珍しいことですし、2つとも地域の学校というイメージになるでしょうから、両方で色々考えていかなければいけない部分があるのかなと思います。できるだけ早く色々な情報を集めたほうがいいのかと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

私からも、佐藤委員と関連してですが、人口増の過程にあるときは学校はどんどんつくっていくのですが、例えば、団地開発とともにつくられるような状況だったりすると、その団地の人口吸収力が終わった時点で、どんどん学校の需要が減って行って、またしぼむというような段階もあると思うのですが、やはりそういう人口の増加の施設管理の計画上の問題も含めて、地域のコミュニティーの問題も含めて、相当中長期を見据えて学校づくりをなされたほうがいいのかと思いますが、いかがでしょうか。

お願いします。

【教育総務課長】

この新設中学校に、そのまま当てはまるかわからないのですが、例えば今度また人口が減ってきたときに、他の施設に転用というのを見据えながら設計していくことも考えられると思います。5年後ぐらいから、基本方針について本格的に決め出すと思うのですが、そのときの情勢等を考えながら計画をつくっていけるとと思います。

以上です。

【委員長】

ありがとうございます。

以前は住宅地だったので心配ないと思いますが、学校跡地に当たって地盤の脆弱性みたいなものに心配、懸念はないのでしょうか。

【施設課長】

その辺につきましては、設計に入る前に地盤調査を入念に行います。それに合った設計を施していくようになりますので、その辺は十分注意して行いたいと思います。

以上です。

【委員長】

2ページにあります国有財産関東地方審議会の中の検討事項には、地盤上のチェックについては入っていないということなののでしょうか。

【教育総務課長】

その詳しいことについては今わかりかねます。申しわけありません。

【佐藤委員長職務代理者】

もう一つだけ聞かせてください。

何か大きな理由があって、この新設中学校をつくらなくていいというような状況になった場合には、船橋市で何か別の教育的な財産として使用することが可能なのでしょうか。

【教育総務課長】

市の企画財政部と話をさせていただいて、また回答させていただきたいと思います。申しわけありません。進捗状況等については、教育委員会会議で随時ご報告させていただき、ご教示いただきながら決めていきたいと思っております。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

ほか、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、報告事項（2）について、指導課、報告お願いいたします。

【指導課長】

本冊、5ページ、平成28年度西安市教育友好使節団の受け入れについて、ご説明いたします。

西安市学校間友好交流は2年をサイクルに直接交流を行っておりまして、本年度は西安市から教育友好使節団53名を受け入れる予定で、現在準備を進めているところでございます。

受け入れの日程につきましては、7月11日月曜日から15日金曜日までの5日間を予定しております。

12日の火曜日は、市場小学校、船橋中学校、船橋高等学校を中心とした交流と、ホームビジットによる日本の家庭の温かみを味わえる交流等を行います。

13日は、アンデルセン公園で法田中学校吹奏楽部による歓迎パレードや豊富小学校の子供たちによる歓迎セレモニーを予定しております。船橋市と西安市の子供たちが直接接触れ合うことで異文化交流を図りたいと考えております。

教育委員の皆様には、先月の教育委員会会議で14日木曜日のパーティーにご参加をお願いしたところですが、その後、日程が変わりまして大変申し訳ございません、資料にありますとおり、7月13日水曜日の夜に行われます友好パーティーにご出席をしていただきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。

ご報告いただきましたが、ご意見、ご質問ございますでしょうか。

【石坂委員】

ホームビジット先の見通しは立っていますでしょうか。

【指導課長】

現在、それぞれの訪問先である市場小学校、船橋中学校、船橋高等学校で手配を進めているところでございます。全てについて受け入れ先が決まったという報告はまだ受けておりません。現在進行中でございます。

以上です。

【石坂委員】

子供たちはやはりホームビジットということで、各家庭に1人だったり、2人だったり行かせていただくことで急速に仲よくなると思うので、スムーズに決まればいいなと思っております。

また、船橋市の魅力をできるだけお伝えしたいとは思いますが、14日、15

日はディズニーランドとスカイツリーという流れでしょうか。

【指導課長】

14日、15日につきましては、中国の方に人気のある場所を選びました。ディズニーランド、東京スカイツリー見学、浅草散策ということでございます。浅草は、世界的にも有名な観光スポットで、日本の歴史や風情を楽しむことができまして、中国の方にも人気の場所と聞いております。

以上でございます。

【松本教育長】

ディズニーランドは一日行くのですか。

【指導課長】

そう考えております。

【松本教育長】

13日の午後は、プラネタリウムだけ行くのですか。

【指導課長】

アンデルセン公園でお昼を食べた後も、しばらくアンデルセン公園におりまして、プラネタリウムは午後3時からということで考えております。

以上です。

【佐藤委員長職務代理者】

これは教育委員会が全面的に主催でやっているのですか。

【指導課長】

所管は教育委員会指導課です。

【委員長】

交流についての費用はどのようになっているのでしょうか。

【指導課長】

予算を計上いたしまして、本年度の予算としては約670万円を計上しております。以上です。

【委員長】

今回は市側が持つということですか。

【指導課長】

はい。

【委員長】

この逆のケースは、西安市が持つということになっているのですか。

【指導課長】

渡航費は訪問する側が持つておきまして、着いた後は、迎え入れる側で持つということになっております。

【委員長】

わかりました。

ほか、いかがでしょうか。

それでは、続きまして、報告事項（3）について、文化課、報告お願いいたします。

【文化課長】

それでは文化課から吉澤野球博物館寄贈記念野球史料展の開催結果について、ご報告させていただきます。

資料は、別冊1の1ページをご覧ください。

昨年11月に寄贈された吉澤野球博物館の史料及び座談会の報告でございます。

史料展は、5月4日から5月8日の5日間、船橋市民ギャラリーで開催いたしました。

展示内容は、明治から昭和初期の間、野球伝来、それから東京六大学野球の史料、及びプロ野球の史料等、貴重な史料約700点を展示いたしました。

5日間の入場者数は757人という内容でございましたが、中でも、やはり60代から70代、学生時代に神宮に応援に行っていたというお話をなさる方がとても多かったという結果になっております。

また、その次によくお話が聞かれましたのは、吉澤野球博物館の建物は知っているのだけれども、行ってもなかなかあいていなかったのも、ようやく見ることができたというふうにお話をされる方が多かったのも、とても印象的でした。

それから、史料の中で最も貴重と言われておりますのが、往年の東京六大学野球の選手の音声テープであり、39人の声がおさまっておりますが、その中のお一人の方のひ孫さんのご家族が、写真やテープ等をいとおしそうに一生懸命ご覧になっていましたのでお話を伺ってみたら、そのひ孫さんは、今、高校で野球をしているということござ

いました。

これから、こういう形で遺族の方にもご覧いただける機会ができるのではないかなと私どももうれしく拝見をしておりました。

次に、5月7日には本市スポーツ総合展示企画等アドバイザーの江藤省三さんと、元中日でチームメートであった習志野高校出身の谷沢健一さんとの座談会も行いました。

当日は、中央公民館講堂に184人のお客様がお越しになりました。その中で、お二人は、吉澤野球博物館の史料の貴重さ、それから谷沢さんは大学院時代に、こちらに2回ほど足をお運びになって、自分のレポートを作成するために史料を貸してもらったというエピソードもお話しなさっており、吉澤野球博物館のことはご存じであったということです。

お二人の高校、大学、プロ野球を通じての野球人生を振り返るお話ですとか、「野球が上達するには」という子供たちから質問には、「野球の上達には近道はなく、基本の積み重ねが大切です」というお話をされておりました。

今後は、平成29年度からの総合体育館での常設展示に向けた整備をしまいりますので、その具体的なものを今後詰めていく予定でございます。

以上でした。

【委員長】

ありがとうございます。

ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

また、船橋の新しい宝物が増えたと思います。よろしく願いいたします。

続きまして、報告事項（4）及び報告事項（5）については、先ほど決しましたとおり、質疑を一括して行いたいと思います。何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

報告事項（4）は次の3ページ、報告事項（5）は本冊の7ページです。よろしいでしょうか。

それでは、報告事項（6）その他において何か報告することがある方いらっしゃいましたら、報告をお願いいたします。

【生涯スポーツ課長】

千葉ジェッツ2015-16シーズンの観客動員数についてご報告させていただきます。

5月8日日曜日に開催されました2015-16シーズンのホーム最終戦におきまして、千葉ジェッツのホームゲーム28試合の観客動員数が10万92人となり、バスケット界初のレギュラーシーズン観客動員数10万人を突破いたしましたことをここに報告させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございます。

ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

なかなかすごい数字なんですね。

続きまして、議案第33号の審議に入りますので、関係職員以外の方はご退席をお願いいたします。

(関係職員以外退場)

【委員長】

それでは、議案第33号について、指導課、説明をお願いいたします。

議案第33号「平成28年度船橋市教科用図書選定委員会委員の委嘱又は任命について」は、指導課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

【委員長】

本日予定しておりました議案等の審議は終了いたしました。

これで教育委員会会議5月定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午後 2時05分閉会